

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東北中学校長

平成30年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語と数学と理科の3教科を実施しました。

国語と数学の2教科については、主に知識に関する「A問題」と、主に知識を活用する力に関する「B問題」に分けて実施しました。理科は、主として知識に関する問題と、主として活用に関する問題をあわせて実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語A	76.1%				○	
国語B	61.2%					○
数学A	66.1%					○
数学B	46.9%					○
理科	66.1%					○

【国語A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	75.2%	○				
書くこと	73.9%					○
読むこと	76.7%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.5%			○		

【考察】

- 慣用句の意味を正しく理解できておらず、更に、文法に関する条件を満たして短文を作ることができない生徒が多く見られました。生活の中でよく使う慣用句やことわざ、故事成語、四字熟語などを教材の中で取り立てて指導していきます。また、教科書にある慣用句・ことわざ・故事成語の教材において、辞書的な意味だけでなく文としての使い方についても集中して指導していきます。
- 慣用句の意味や使い方は理解できていても、文法的な条件が複数あり、条件をすべて満たした短文が書けないという生徒も少なくありませんでした。ただ短文を作るだけでなく、文法についても、主語や修飾語（部）を明確にした上で作文できる力をつけていきます。そのために、文法の教材だけでなく、日常的に文法の確認をしながら授業を進めていきます。

【国語B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	76.6%				○	
書くこと	31.3%			○		
読むこと	53.5%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	49.2%					○

【考察】

- 誤って解釈されがちな四字熟語について説明した文章を読み、なぜそういう間違いが起こるのかその理由を書くことができませんでした。その際、文章中のどの部分が必要であるかの取捨選択での間違いや、それができていても自分の文として書く際に漢字を間違えたり、意味の伝わらない文になってしまったりする場合もありました。長い説明文の中で、自分に必要な情報を探し出す練習やそれを自分で文章に組み立てる練習を行っていきます。
- ロボットについての発表で、発表の中での聞き手とのやりとりや資料の使い方などが全体の流れの中でどういう位置にあるかを考える問題に間違いが多く見られました。スピーチやプレゼンテーションの中での効果的な資料の使い方についての学習を強化していきます。

【数学A：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	71.1%					○
図形	69.1%				○	
関数	55.5%					○
資料の活用	63.5%	○				

【考察】

- 平面図形において、三角形の合同条件や証明の意味についての理解に課題が見られます。今後の図形の学習においては、辺や角の対応と、それを根拠にして筋道を立てて考えることができるような学習を行います。
- 資料の活用において「中央値」の意味と求め方の理解が不足していました。重要語句を確認し、それらを具体的に用いる機会を設けて理解の定着や習熟を図ります。
- 日々の授業において、学んだことを確かめて習熟を図る時間を設け、基礎学力の定着を図ります。

【数学B：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	51.4%					○
図形	46.7%					○
関数	52.8%					○
資料の活用	38.0%					○

【考察】

- 数に関する事象についての考察が良くできました。具体的な数はもちろん、文字を用いた式の計算を、与えられた条件に従って正確に行うことができます。今後も、目的に応じて文字式で表現したり、説明したりする学習を継続します。
- 列車のダイヤグラムから、必要な情報を適切に読み取ることができました。しかし、読み取ったことを数学的な表現を用いて説明することに、やや苦手意識がみられますので、授業において、考察したり表現したりする機会を多く設定していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
物理的領域	74.4%			○		
化学的領域	65.0%					○
生物的領域	72.5%				○	
地学的領域	57.8%			○		

【考 察】

- 「化学的領域」は、よく理解できていますが「物理的領域」と「地学的領域」では知識理解が不足していました。特に地震や電流の部分は再度確認するとともに、計算などの練習も引き続き行っていきます。
- 実験の結果から新たな問題を見いだすことができていました。しかし、実験の結果を踏まえて考察したり、要因を指摘したりする問題に課題が見られました。引き続き、日々の授業で問題解決的な内容を取り上げ、実験の結果を踏まえた話し合い活動を行っていきます。
- 記述式の問題で無解答率が高かったので、基礎学力の定着を図り自分の考えを表現する機会を多く設けていきます。

**平成30年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東北中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していきたいと思っております。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、て、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

1 普段（月～金）、授業以外にどのくらいの時間を学習していますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全国	10.5	25.9	34.2	16.6	7.9	4.9
3	東北中	8.0	48.0	40.0	2.0	2.0	0.0

(単位 %)

【考察】

- 本校の生徒は、平日において家庭や塾などで2時間以上学習する生徒が半数以上であり、全国平均を大きく上回っています。本校では家庭での学習習慣の定着を図るため、毎日、家庭学習ノートの提出を課しており、自主的な学習習慣が身につけていることも結果に寄与していると考えられます。
- 小中連携の視点から、学区内の小学校6年生を対象に、中学生の模範的な家庭学習ノートを閲覧用に貸し出ししており、方法や内容について参考にしながら取り組んでいるため、年々、自主学習の充実が図られるようになってきています。

2 自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえはしている	あまりしていない	全くしていない
中	全国	16.6	35.5	34.8	13.0
3	東北中	20.0	56.0	20.0	4.0

(単位 %)

【考 察】

- 全体の四分の三以上の生徒が計画を立てて学習できています。この結果には、昨年度末に配付された家庭学習スタンダードについて、学校通信で活用方法を周知したことや、保護者会等で家庭での活用を依頼したことも功を奏したと考えられます。
- それぞれの担任が、生活・学習ノート（毎日の家庭生活の記録）を丁寧に点検し、適切にコメントを記載するなどして励ましていることも結果に反映されていると考えられます。

3 普段（月～金）、授業以外に1日当たりどのくらいの時間、読書を読みますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
中	全 国	6. 1	8. 7	16. 1	22. 6	13. 5	32. 9
3	東北中	2. 0	18. 0	32. 0	30. 0	14. 0	4. 0

(単位 %)

【考 察】

- 本校生は全国と比較して読書に親しむ生徒が多いです。これは、年2回の読書週間の設定や図書委員会による図書通信の発行、給食の配膳時に読書をして待つ習慣の確立などが有効だったと考えられます。
- 今年度は図書室の書籍の中から、図書委員がお薦めの本を選び、学級文庫として教室内に設置したことで、さらに読書への興味関心の高まりが見られます。

4 家で学校の授業の予習・復習をしていますか。

		している	どちらからといえ ばしている	あまりしていな い	全くしていない
中	全 国	18. 2	37. 0	31. 6	13. 1
3	東北中	32. 0	50. 0	16. 0	2. 0

(単位 %)

【考 察】

- 全国平均と比較して、授業の予習・復習に意欲的に取り組んでいる生徒が多いという結果になりました。これは、各教科でノート指導や予習プリントを作成するなどして取り組ませたり、ワークブックを活用して学習内容の定着を促したりした結果と考えられます。
- 予習・授業・復習のサイクルが身につけていない生徒も若干みられますので、更なる工夫・改善を行っていきます。ご家庭でも励ましをよろしくお願いいたします。

5 数学の授業はよくわかりますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	28.2	42.8	21.4	7.4
	東北中	40.0	48.0	12.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 9割近い生徒が数学の授業が分かると回答しています。これは、1年次にチームティーチングを取り入れたことや、3年生で習熟度別授業を行っていることが反映されていると考えられます。
- 全職員が校内授業研究を実施し、学校全体で授業改善に取り組んでいることも、教師の授業力向上に寄与しています。数学を苦手とする生徒に対しては放課後学習会を設けて個別指導を行うなど、学力向上に向けた取り組みを行っていますので、継続してまいります。